様式第19号 (刑訴第203条,第211条,第216条)

弁 解 録 取 書

住 居

職 業 会社顧問 (大川原化工機株式会社)

氏 名 相嶋 静夫 (あいしま しずお)

生 (歳)

本職は、令和2年3月11日午後3時2分頃、警視庁公安部外事第一課において、上記の者に対し、逮捕状記載の犯罪事実の要旨及び別紙記載の事項につき告知及び教示した上、弁解の機会を与えたところ、任意次のとおり供述した。

1 只今、警察の方から供述自由権を告げられましたが、自分の意思に反して供述する必要がないことは、十分に理解しています。

2 弊社の噴霧乾燥器に対する輸出規制対応は、社長、島田取締役、私の3人で話し合いましたが、最終的には社長の責任です。

先程、逮捕状に記載されている逮捕事実を確認しましたが、弊社製噴霧乾燥器「スプレードライヤRL-5」は、本来、該当機として経済産業省へ輸出許可申請をすべきところ、無許可で中国に輸出したことは間違いありません。

3 弁護人選任権及び被疑者国選弁護制度について説明を受け理解しました。弊社がお願いしている弁護士に連絡してください。

4 弁護人又は弁護人となろうとする者と接見したい旨を申し出れば、直ちにその旨を弁護人等に連絡して頂けることも分かりました。

相嶋静夫

(前)

以上のとおり録取して読み聞かせた上、閲読させ

警 視 庁

別紙

- 1 あなたは、^{べんごにん せんにん} 弁護人を選任することができます。
- 2 あなたに^{べんごにん} 弁護人がない場合に^{ばあい} 自らの費用で^{べんごにん せんにん} 弁護人を選任したいときは、^{べんごし、べんごしほうじんまた、べんごしかい} 弁護士、弁護士法人又は弁護士会を指定して申し出ることができます。その^{もうして} 申出は、^{しほうけいさつじん} 司法警察員（^{そうち} 送致された場合は^{ばあい、けんさつめん} 検察官）か、あなたが^{りゆうち} 留置されている^{しせつ、せきにんしつ} 施設の責任者（^{りいししせつ、ちようも} 刑事施設の長若しくは^{りゆうちどうようむかんにりしつ} 留置業務管理者）又はその代^{りしつ、たい} 理者に対してすることができます。
- 3 あなたが、^{ひきつづきこうりゅう、せいきせう} 引き続き勾留を請求された場合において^{ひんこんとう、しゆう} 貧困等の事由により^{みづか、べんごにん、せんにん} 自ら弁護人を選任することができないときは、^{さいばんかん、たい} 裁判官に対して^{べんごにん、せん} 弁護人の選^{にん、せいきせう} 任を請求することができます。裁判官に対して^{さいばんかん、たい、べんごにん、せんにん、せいせう} 弁護人の選任を請求するには^{しりよくしんこくしよ、ていしせつ} 資力申告書を提出しなければなりません。あなたの^{しりよく} 資力が50万円以^{まんえんい} 上であるときは、あらかじめ、^{べんごしかい、べんごにん、せんにん、もうして} 弁護士会に^{しんごう} 弁護人の選任の申出をしていなければなりません。
- 4 あなたが、^{べんごにんまた、べんごにん} 弁護人又は弁護人となろうとする^{べんごし、せつげん} 弁護士と接見したいことを申^で し出れば、^{ただ} 直ちにその旨をこれらの^{もの、れんらく} 者に連絡します。